

令和8年1月15日会議概要

第1 日時

令和8年1月15日（木）午前9時05分から午前11時45分までの間

第2 出席者

池坊委員長、森委員、森田委員、在田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、警察学校長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 議題

(1) 平安騎馬隊運営費に係るクラウドファンディングの実施結果について

総務部長から、令和7年10月1日から同年12月31日までの間、目標金額を500万円に設定し、平安騎馬隊運営費に係るガバメント・クラウド・ファンディングを実施した結果、暫定値で353件の申込みがあり、640万円台に到達するとともに、130件以上の平安騎馬隊への応援メッセージも届いた旨、報告があった。

委員から「集まったお金は、馬と府民の安全安心のために活用していただきたい。」旨、発言があった。

(2) 職の新設に関する京都府知事との協議について

警務部長から、令和8年春の職の新設について説明があり、審議の上、京都府知事との協議を了承した。

(3) 本部所属員による警察署当番への応援派遣について

警務部長から、当番制度の導入に伴い、警察署の昼間帯の体制確保等を目的として、本部所属員による警察署当番への応援派遣を試行実施する旨、報告があった。

本年2月から一部の警察署において試行実施し、本年3月からは全署に試行を拡大、本年秋には全署で本格実施予定である旨、説明があった。

委員から、「ブロック署長会議において、各署が問題として挙げていたことであり、迅速な対応はありがたい。状況を見て、本格実施をしていただきたい。」旨、発言があった。

(4) 令和7年度「京都府警察永年勤続者表彰式」の実施について

警務部長から、本年1月30日、京都府公館において、満30年勤続者83人を対象とした令和7年度「京都府警察永年勤続者表彰式」を実施する旨、報告があった。

(5) 交番・駐在所等への「手話リンク」の導入について

地域部長から、本年1月26日より、交番・駐在所及び警備派出所において、聴覚障害者等の交番来訪時の利便性を向上する目的で、一般財団法人日本財団電話リレーサービスが提供する「手話リンク」サービスを導入する旨、報告があった。

サービスの概要は、聴覚障害者等が勤務員不在の交番等に訪問した際に、スマート

フォン等のカメラを用いて二次元コードを読み込み、操作すると手話通訳オペレーターとビデオで繋がり、手話を通じて会話をを行いながら交番等を管轄する警察署に架電し、聴覚障害者等の申し立て内容を伝えるもので、手話通訳オペレーターを介して、聴覚障害者等と警察署職員との双方面の会話が可能となる旨、説明があった。

委員から、「これも良い取組だが、テキストメッセージ等で警察職員が直接的に応答する取組はないのか。」旨、質問があり、地域部長から、「緊急な事案については、メール 110番等のシステムで対応している。」旨、回答があった。

(6) 地域交通安全活動推進委員協議会会長研修会の開催について

交通部長から、本年 1月 23日、当府警察本部において、地域交通安全活動推進委員協議会会長研修会を開催する旨、報告があった。

地域交通安全活動推進委員は、警察署と連携し、交通安全について住民の理解を深めるための各種活動を推進しているもので、現在京都府下で 424人が活動していること、研修会では、全国研修会で講演された宮城県の地域交通安全活動推進委員協議会会長の講話を受講したり、代表協議会による事例発表等を行う旨、説明があった。

委員から、「協議会会長の的確な現状把握と、意識が大切であり、有意義な研修会になるようよろしく願う。」旨、発言があった。

(7) 独立行政法人国際協力機構（JICA）課題別研修の受入について

サイバー対策本部長から、本年 2月 5日及び 6日、独立行政法人国際協力機構（JICA）の依頼を受け、開発途上国におけるサイバー対処能力向上を目的として、19か国の外国治安機関においてサイバー犯罪捜査・対策、デジタルフォレンジック等の実務を担当している職員22人の受入対応を行う旨、報告があった。

委員から、「日本の検査官が他国で研修を受けることはあるのか。」旨、質問があり、警察本部長から、「外国のセキュリティベンダーが実施するオンライン研修に参加する例がある。」旨、回答があった。

また、委員から、「京都市教育委員会では、JICAの青年海外協力隊に参加した者に対し、特別採用枠を設けているが、警察官採用試験でも取り入れてみたらどうか。」旨、意見があり、警察本部長から、「採用情勢は厳しい一方で、国際的な人材へのニーズは益々高まるので、今後検討ていきたい。」旨、発言があった。

(8) 「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」第9回推進本部会議及び新協定締結式の開催について

京都市警察部長から、本年 1月 27日、京都市役所本庁舎において、「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」第9回推進本部会議及び新協定締結式を開催する旨、報告があった。

新協定の活動指針（重点戦略）は、京都市に関わる全ての人が安心・安全を実感できる防犯環境の整備・充実、防犯ボランティア、市民・事業者と連携した持続性のある防犯活動の活性化・充実、社会情勢に応じたすべての世代を守る防犯対策の推進であり、協定期間については令和 8年度から治安情勢の変化に伴う見直しの必要がない限り永続とする旨、説明があった。

(9) 初任科第 275期（長期課程）卒業式の実施について

警察学校校長から、本年 1月 27日、京都府警察学校において実施する初任科第 275期（長期課程）卒業式の実施概要、出席者、教養状況等について報告があった。

2 警察本部長総括

警察本部長から、「衆議院が解散になった場合は、直ちに全国本部長会議が開催される見込みであり、それを受けて府下署長会議を開催することになる。」旨、報告があった。

3 聽聞等

運転免許関係行政処分について

運転免許試験課交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、20件の行政処分を審議した。

4 個別決裁

(1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について（3件）

監察官室訟務官から、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の規定による特定抗争指定暴力団等の指定の期限の延長処分を受けた者（3件）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の却下を決定した。

(2) 公安委員会宛て苦情について（受理2件、処理2件）

公安委員会補佐室長及び室長補佐から、公安委員会宛ての苦情申出に関して、受理2件の報告があり、処理方針を決定するとともに、受理した公安委員会宛ての苦情申出2件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

5 個別報告

(1) 接見交通権について

留置管理課長から、京都府警察における接見交通権の教養状況について報告があった。

(2) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。